

## ● 議会答弁対応力向上研修 ●

実施期間	令和8年7月14日				
対象者	全職員	定員	36人		
目的・内容	行政の説明責任が高まるなか、議会対応における説明能力の向上を図る。				
講師（敬称略）	一般社団法人日本経営協会 講師 田鹿 俊弘（元 滋賀県草津市議会事務局次長）				
	9:50 10:00	11:50 12:50	17:00 17:05		
7/14 (火)	オリエンテーション	<p>1. 地方議会の役割 &lt;講義と演習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の役割と議員の役割</li> <li>・地方分権改革と議会</li> <li>・議員の責任と議員への期待</li> </ul> <p>2. 議会との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—管理者としての職場のマネジメント—</li> <li>・議員の地位の特性</li> <li>・議員との良好な関係の構築</li> </ul> <p>3. 議会対応の基本 &lt;講義と演習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問通告書が提出されてから</li> <li>・質問事項がよく理解できないとき</li> <li>・質問議員との調整の範囲と手法</li> <li>・質問議員の真意を探る</li> </ul>	昼休み	<p>4. 答弁書の作成 &lt;事例をもとにグループ演習・発表&gt;</p> <p>(1) 質問事項の取材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—答弁書作成の前に質問事項のポイントを押さえる—</li> <li>・質問の出处を知る</li> <li>・どういう答弁を期待されているのか</li> <li>・答弁者の考えはどうか 等</li> </ul> <p>(2) 答弁書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—議員に理解していただく答弁（書）を作る—</li> <li>・質問事項に対する答弁漏れはないか</li> <li>・一貫性、整合性に問題はないか</li> <li>・法令に抵触、公約等に反していないか</li> <li>・簡潔、明瞭な答弁か</li> <li>・再質問の余地を残していないか</li> <li>・答弁による行政責任（施策の実施義務）は発生するか</li> </ul> <p>5. 委員会での答弁技法 &lt;事例をもとにグループ演習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会は台本なしの真剣勝負の場であることを理解しておく</li> <li>・委員会に臨む前の心構えと準備しておくこと</li> <li>・質問者を納得させる論理的な説明とは</li> <li>・好感もてる答弁者の姿勢</li> </ul>	ふりかえり (アンケート回答)